

【イクボスメールみえ 第41号】シンポジウム「仕事も家庭も自分の時間も」

みえのイクボス同盟メールマガジン「イクボスメールみえ」を送付します。

今回は、シンポジウム「仕事も家庭も自分の時間も」についてお知らせします。

■■ シンポジウム「仕事も家庭も自分の時間も」 ■■

就業継続につながる両立支援のあり方について、企業の人事・労務担当者、子育て中の方、学生などが意見交換をすることで、企業における働きやすい職場づくり」の取組を促進するとともに、学生が仕事と家庭の両立への理解を深め、自身のキャリアデザインを考えるためのシンポジウムを開催します。

- 1 日時 令和2年1月25日（土曜日）
13時00分から16時30分まで（12時30分受付開始）
- 2 場所 三重県総合文化センター 文化会館棟2階 第1ギャラリー
（津市一身田上津部田1234）
- 3 内容 【第1部】トークセッション「働き続けられる職場、ずっと働きたい職場」
徳倉 康之 氏（株式会社ファミリーエ 代表取締役社長）
松浦 信男 氏（万協製薬株式会社 代表取締役社長）
堀江 敦子 氏（スリール株式会社 代表取締役）
「わが社の両立支援の取組紹介」
仕事と家庭の両立体験プログラム（*）受入企業の取組紹介

【第2部】仕事と家庭の両立体験プログラム報告会
プログラム参加学生が、仕事と家庭の両立の課題・解決への提言
などを報告します。

*仕事と家庭の両立体験プログラムとは、就労前の学生が仕事と家庭を両立した働き方を体験し、就労継続や両立への理解を深め、自分のキャリアデザインと10年後の働き方を考えるプログラムです。

【第3部】意見交換「自分らしく働ける環境づくり」

企業の人事・労務担当者、子育て中の方、学生など、多様な立場から「自分らしく働ける環境づくり」について意見交換を行います。

《ファシリテーター》堀江 敦子 氏（スリール株式会社 代表取締役）

4 対象者 企業の人事・労務担当者、子育て中の方、学生など、仕事と家庭の両立に関心がある方

5 定員 50名 ※先着順です。定員に達した場合は申込を締め切ります。
※託児（生後6か月から未就学児まで）を無料で利用できます。
（事前申込必要）

6 申込期限 令和2年1月24日（金）
託児の利用を希望される場合は、令和2年1月14日（火）まで

7 申込方法

【WEB】

<https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/dform.do?acs=20200125ryouritusymposium>

【FAX・電子メール】

ホームページに掲載の申込書（チラシ）に必要事項を記入いただき、下記お申込み先まで送付してください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0030700335.htm>

7 問い合わせ・お申込み先

公益財団法人三重県産業支援センター

〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891番地 三重県合同ビル5階

TEL：059-253-1260 FAX：059-253-1262

E-mail：chipro@miesc.or.jp

※本事業は、地域活性化雇用創造プロジェクト「女性の就職サポート事業（就労継続支援）」として、三重県より公益財団法人三重県産業支援センターが受託し運営しています。

■■■メールマガジンに関するお問い合わせ■■■

（アドレスの変更・配信停止等につきましては、下記までご連絡ください。）

三重県子ども・福祉部 少子化対策課 少子化対策推進班

電話：059-224-2404 FAX：059-224-2270

電子メール：shoshika@pref.mie.lg.jp

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOSHIKA/HP/m0074300049.htm>